

第2回島田市特別職報酬等審議会 会議要録

1 日時

令和8年2月6日（金）午後7時～午後7時45分

2 場所

プラザおおるり第6会議室

3 出席者

委員：池ヶ谷委員、亀山委員、鈴木委員、中村委員、前川委員、村田委員

事務局：前島行政経営部長、榛葉人事課長、友野課長補佐

説明員：秋山議会事務局長

傍聴者：なし

4 議事要録

(1) 開会

資料の確認を行った。

(2) 議事

議員報酬について

事務局から資料1及び資料2について説明を行った。

【質疑応答】

委員A 議員報酬は、平成15年から22年間ぐらい改定されていないということで、その金額が現在の活動量に見合っているかどうかということの審議だと思う。

資料で示されている議員活動の実態調査だが、調査期間が令和6年2月から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症が5類に移行する時期で、議員も活動を自粛していた時期に当たる。コロナ禍でなければ全体的にもう少し活動していたものと思われる。調査結果は細かく分析され、丁寧にやっていただいたと思う。

議員年金給付負担金が、平成23年6月に制度廃止となったが、過去の在職者に経過措置として継続していて、今回報酬が上がればこれも上がってくるという説明があった。現時点で経過措置の対象となる議員は、島田市にどれぐらいいるのか。

説明員 現在島田市で45人、全国では3万6千人。亡くなられるなどして年間2千人ぐらい受給者が減っているが、当面年金の受給は続くだろうと考えている。

委員B 焼津市は人口が13万5千人ぐらい、藤枝市と同じぐらいだが議員報酬が低く抑えられている。この要因が分かれば教えてほしい。

説明員 あくまで推測だが、焼津市でも4年ほど前には議論があったと聞いている。議論の途中で改選を迎えて、その後話が発展しなかつ

- たと聞いている。俎上には上がったが一旦立ち消えとなっ
てしま、その間に藤枝が上がったという状況だと考える。
- 事務局 藤枝市が今年度審議会を開催したので、資料に載っているのは改定後の金額となる。焼津市が今後改定していく場合には、藤枝市を見てということになるかと思う。そういうタイムラグがあるというところで、差が出ているのかなと思う。ただし、焼津市がいつ改定するか、情報は入っていない状況。
- 委員C 改定案の議員の報酬が40万4千円となった根拠はなにか。
説明員 46万9千円を議員報酬の上限目安とし、それを議長の報酬に当てはめたときに、現在の議長報酬との差額をそのまま副議長、委員会の委員長、議員の報酬に落とし込んだ。それで副議長の場合は議長報酬から4万5千円を減ずるということになる。
- 委員D 議長以下をどのように算定するか色々な考え方があり、率で増加させるという考え方もある中で、今回は議長のところから現行水準の差額を副議長、議員というかたちで出したということではないか。
- 説明員 そのとおり。

質疑応答の後、会長から委員が判断するに当たっての検討材料を伝え、議員報酬の改定について各委員の意見を聞き、審議会としての意見を取りまとめた。

【委員の意見】

- 委員B 妥当だと思う。ただし、上げた分、財政ひっ迫の折、議員定数のところまで及んでくるのではないかと思う。
- 委員D 今回の上げ幅を議員1人当たりで換算すると1.6人という計算が参考資料として出されているので、これぐらいの予算の増加が見込まれるということ踏まえて議員の定数についても検討してほしいということではないか。
- 委員B そのとおり。
- 委員C B委員の意見に近いが、人口が減ってきていて、議員定数は人口に伴って減らしていくこともあると思うし、逆にこの人数がいないと議会が運営できないということもあると思うので、その判断が難しいと思う。最低必要な人数はどのぐらいかということは知っておかないといけない。金額については、反対はない。これだけの年数上がってなくて、市民1人当たりの負担率が島田市は少ないというところで、上げて納得性はあるのかなと感じている。ただ、原資のところは気になる。あと、成り手不足があるので、引き上げて議員もこれで生活できるというようなものになっていけば。
- 委員A 妥当ではないかと思う。議員報酬と議員定数がセットで論じられることが多いが、議会としての多様な民意を反映する、島田市は

県内でも5番目の面積を持つ広い範囲なので、そういったことも考慮して議員定数は確保すべきだと思う。議員報酬と議員定数は、別物として考えていただきたい。

委員E 説明を聞いたところ島田市の議員報酬はちょっと少ないと思う。島田市の人口からしてどうかと考えたが、掛川市、菊川市、牧之原市など近隣市との比較で見ると島田市の人口もある程度いるので、上げることは賛成。会社での給与の決め方と違うということを勉強させていただいた。

委員F 報酬引上げは妥当だと思うが、他の委員がおっしゃっていた議員定数について、島田市は人口が減っているのだから、そのあたりを考えていただけたら。定数は、議員定数は変わってないですね。

説明員 平成15年から報酬は変わっていない。定数は27人から23人になり、20人へと減らしてきたが、金額は固定されてきた経緯がある。

委員D 欠席のG委員の意見を聞いているか。

事務局 事務局提案に賛成との回答をいただいている。

委員D 他の委員の指摘のとおり近隣市との比較や、長年固定されてきた金額は今の水準、議員の活動実態からすると見合っていないと考えるので、事務局提案の上昇改定に賛成。

議員定数の件は、当審議会の直接的な議論の対象にはなり得ないが、委員の方々から指摘があった人口が減少している中で定数が今の状況に見合っているのかどうか、予算が必要な議員報酬の改定になるので、定数の問題についても意識した上で市の運営をしてほしいと考えておられるのかなと思う。

A委員から指摘のあったとおり、人口だけで定数を決めていいかというところ、議員活動のエリアも考えないといけないし、活動の実態もある。そういうところも含めて定数の問題を、この審議会とは違う部門で検討していただければ思う。

【審議会の意見】

議員報酬の増額改定について、事務局提案に賛成する。

(3) その他

次回の日程案を後日事務局から提案することとなった。